

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

42

平成25年3月31日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



謝辞をのべる菊池省三氏（写真左）
大城一郎市長と菊池清之市社協会長（写真右）

平成24年度 八幡浜市社会福祉大会を開催しました

ひとり一人のささやかな福祉活動が、地域の大切なつながりになります

平成25年1月26日（土）13時30分～16時、八幡浜市民会館大ホールで「平成24年度 八幡浜市社会福祉大会」主催 八幡浜市社会福祉協議会が開催されました。誰もが安心して暮らせる地域づくりの実現に向けた活動に私たち市民が考え参画する機会と、社会福祉の発展にご尽力され多大なる功績を残された方々を表彰し、地域福祉の充実を図るために大会を開催しました。プログラムは式典、記念講演を執り行いました。小雨の中、約300名の市民の皆様に参加して頂きました。

八幡浜市社会福祉大会は、平成3年度から開催を継続しています。昭和54年社会福祉協議会や民生委員協議会ほか60団体を主体として開催された「第1回社会福祉研究大会」や平成元年に開催された「第1回ソーシャ

ルワーク講演会」を起源としています。

式典では、八幡浜市長表彰（民生委員・児童委員功労）を受けられました菊池省三氏（千丈地区）より謝辞をのべられました。「私たちは日頃、地域の一住民として、ささやかな活動を続けております。当たり前のことを行っているに過ぎず、本日の表彰に値するものであるうかと考えますと、まことに驚きを感じております。私たちの活動を高く評価して頂きましたことは、皆様方のご指導とご恩恵の賜と、感謝のほどでございます。私たちは本日の感激を忘れることなく、八幡浜市の社会福祉の向上に、微力ではございますが、尽くして参りたいと存じます。本日は誠にありがとうございました。」

平成24年度 八幡浜市社会福祉大会 表彰された皆様

1. 表彰の部

(1) 八幡浜市長表彰

ア. 民生委員・児童委員功労

菊池省三

(千丈地区民生児童委員協議会) 平成10年民生児童委員拜命以来、率先して地域福祉の向上につとめ、生活相談や見守り活動に積極的に取り組まれています。

イ. 優良ボランティア功労

井上サチ子

(八幡浜市ともしび婦人会) 永年にわたりボランティア活動に積極的に参加し、高齢者・児童等幅広く活動されてきました。

菊池秋子

(八幡浜市赤十字奉仕団) 永年のボランティア活動、サロンのお世話人など地域の福祉活動においてもリーダー的存在。



菊池秋子 氏



井上サチ子 氏

(2) 八幡浜市社会福祉協議会会長表彰

ア. 民生委員・児童委員功労

- 岡 恵美子 中元せい子
- 此上 勝 川本昌子
- 野本美代子 戎 重和

イ. 民間社会福祉団体功労

幸田裕司

(地域活動支援センターくじら)

ウ. 優良ボランティア(個人)

- 沖本都紀枝 三原千恵子
- 川田スエ子 上野山隆子
- 兵頭敬子 小西隆子
- 松村良子 井上美代子
- 松野ツルミ 河端マサ子

エ. 優良ボランティア(団体)

- 天理教西宇和支部婦人会
- 大黒町老人

オ. 優良地区社会福祉協議会

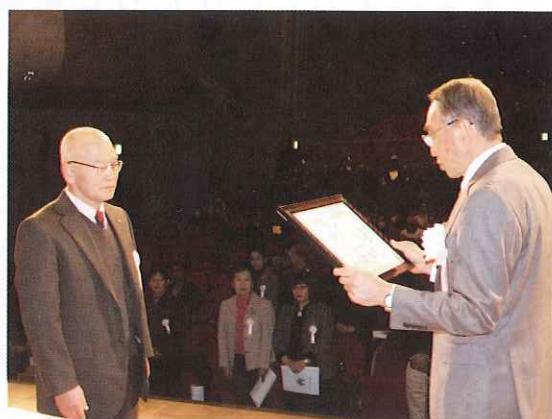
- 松蔭地区社会福祉協議会

カ. 優良地区民生児童委員協議会

- 川上地区民生児童委員協議会



司会のリトルウィング 山内智子氏(写真左)と手話サークルあゆみの会 藤高清美氏(写真右)



戎 重和 氏

え・感謝の部

(1) 八幡浜市社会福祉協議会感謝状

ア.「まごころ銀行」預託(金銭)

感謝

吉村紀行 古澤康治
 小野 巖 吉田昭平
 井上傳一郎
 南予歌謡同好会、
 八幡浜かもめスイング会、
 弁護士法人たいよう、
 保内カラオケ愛好会、
 医療法人青峰会くじらグループ、
 組合法人愛媛県移動店舗事業
 組合南予事業所、
 八幡浜陶芸会

(敬称略)



弁護士法人たいよう 吉村紀行氏

記念講演

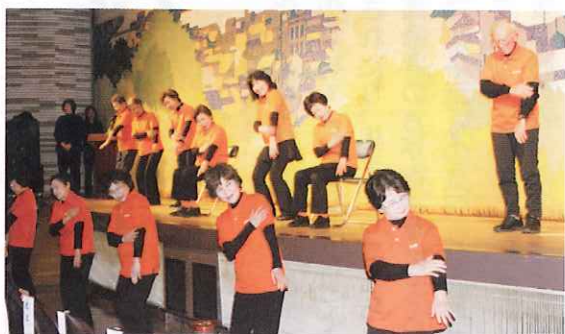
「認知症予防にも継続した運動が大切」

記念講演では、神戸常盤大学保健科学部看護学科教授(医学博士)柳本有二氏に、「元気な100歳を目指して〜認知症の予防と総合的な体力づくり〜」と題してご講演頂きました。柳本氏は運動生理学や健康科学を専門とし、認知症グループホーム等において総合的な体力づくりを研究・支援されておりられます。テレビ番組では「世界一受けたい授業」等に出演されています。

日頃からできる運動や栄養のとり方など分かりやすく説明して頂きました。運動機能の回復や骨粗しょう症の予防はもちろん、認知症予防においても、継続した運動が大切であると、今後の介護予防に大きなヒントを頂きました。会場の皆様と指折りの運動やじゃんけんなどを行い日常生活で取り組むことのできる運動を体験しながら、認知症の予防や体力づくりについて、楽しく学ぶことができました。



片足立ちをする柳本氏



休憩時は、みんな「はつらつ介護予防体操」

リニューアルした社協ホームページに遊びに来てや

平成24年10月15日から、八幡浜市社会福祉協議会のホームページをリニューアルしました。

八幡浜市社会福祉協議会で開催している研修会のご案内や開催時の写真や記事、地域福祉に関する情報などを掲載しています。広報紙にはおさまりきらない写真や情報が沢山あります。フェイスブックに登録されている方は、関心のある行事や取組について、「いいね」を押して頂ければ嬉しいです。社協だよりと社協のホームページをみて、あなたも地域福祉に参加しませんか。

「八幡浜市社協」で検索してみてください。お待ちしております。



愛ちゃん

希望くん

<http://www.yawatahamashi-syakyoku.jp>

江戸岡地区見守りネットワーク会議が開催されました

「地域の特徴にあつた見守り活動を続けます」

平成25年3月4日(月)19時～20時30分、江戸岡地区公民館にて、江戸岡地区見守りネットワーク会議(主催 江戸岡地区社会福祉協議会)が開催されました。江戸岡地区の見守り推進員、民生児童委員、江戸岡地区社協関係者、八幡浜市地域包括支援センター、八幡浜市社協合計26名が出席しました。

ネットワーキング会議では、お一人暮らしの高齢者の見守り活動に携わっている見守り推進員や民生児童委員の活動の報告、課題や悩みを話し合います。江戸岡地区は年一回開催しています。八幡浜市地域包括支援センターから、

見守り推進員からは、
 ① 少ないですが、声をかけても警戒されたり、相手にしてもらえない高齢者の方が存在すること
 ② 高齢者世帯への気配りも必要であること
 ③ 後期高齢者で体力が低下している人が顕著になってきたこと
 などの課題があげられました。
 民生児童委員からは、

- ① 八幡浜市の高齢化率と要介護認定者数等の現状について
- ② 八幡浜市人口ピラミッド
- ③ 平成24年度市町別65歳以上人口の状況
- ④ 主な高齢者サービス事業

八幡浜市社協からは、江戸岡小学校区の福祉指標(人口、世帯数、高齢化率)を報告しました。八幡浜市全体の高齢化率は33%弱で、江戸岡小学校区



輪ゴムで、見守り活動のポイントを考えます

- ① 個人情報保護法や地域社会の希薄化により、お一人暮らしの高齢者の情報をキャッチしづらいこと
 - ② 高齢者が入院・入所、転居したときの情報が得られないこと
 - ③ 民生児童委員と福祉事業所等との情報の共有と連携が十分でないこと
 - ④ 認知症高齢者への支援などの課題があげられました。
- 見守り活動は、皆さんの温かなボランティア精神とやりがいでも継続されています。江戸岡地区という地域の特性を考慮しながら、高齢者と見守り推進員・民生児童委員・地区社協とが信頼関係を築くことが大切であることを認識しました。



見守り推進員 岡崎さん(写真中央)からの報告

見守りネットワーク事業についてのお問い合わせは、
 八幡浜市社会福祉協議会総務福祉課
 (23・2940)まで。

講師の話に耳を傾けて聴きます



平成24年度 福祉後見入門講座 11名の方が修了されました。 今後、修了生が活躍できる 環境づくりを目指して

平成25年2月5日(火)から始まった「平成24年度福祉後見入門講座(主催八幡浜市社会福祉協議会)が平成25年2月23日(土)に閉講しました。

この講座は、市民が成年後見制度の理解を深め、市民後見人を目指すことを目的として、八幡浜市の委託により、平成22年度より始まり、平成22年度より始まり、6日間10科目(のべ受講時間700分)という課程でしたが、21名の方(一般9名、ボランティア関係4名、福祉事業所4、民生児童委員4名)に受講して頂きました。その内、所定の要件を満たした11名の方があらたに福祉後見入門講座修了生となりました。(平成22年度31名、平成23年度18名が修了しています)

11名の修了生にアンケートに協力して頂きました。

【質問①成年後見制度の理解度】については、2名が「よく理解できた」、9名が「まずまず理解できた」と回答されています。

【質問②市民が成年後見人を担うことについての考え】では「とても大切なことですが、責任のある仕事だと思います」「できればいいですが、自分で考える

と難しいです」「これからますます需要があると思います」「認知症の高齢者や障がいをもつ人には必要になる制度で、市民が担うことで身近な後見人になれると期待します」「地域の人たちが成年後見制度により目を向けるためには必要です」などの意見がありました。

【質問③市民後見人を担うこと】については、「市民後見人になりたい」と答えた人はおられませんでしたが、しかし、「市民後見人になれない」と答えた人はおられず、「バックアップがあれば市民後見人になりたい」「もう少し勉強してから考えたい」と回答されています。

愛媛県下では、まだ市民後見人は誕生していません。



「こんな場合、どうしますか?」と問いかける講師・社会福祉士の村口氏(写真右)と考える受講生

生していません。市民後見人は成年後見人の不足を解消するだけではなく、市民の特性を活かし、市民の支え合いを進めていく上で、大きな可能性をもっています。八幡浜市社会福祉協議会では、市民の皆様や福祉、医療、法律、行政機関と連携しながら、今後も権利擁護を推進していきます。

今回修了された方

- 清水マチ子 松本英男
- 兵頭弘子 徳島 守
- 森 由紀子 松本清美
- 三瀧 静香 道上サヨ子
- 梶 ゆか 水沼明美
- 上田美和 (敬称略、順不同)

笑顔と体験で「コミュニケーション」を学ぶ

福祉後見入門講座修了生と生活・後見支援員が参加



スプーンを曲げてみせる幸田氏(写真右)

平成25年2月19日(火) 13時～15時、JAにしろわ会館4階すみれ・サルビアにて「平成25年度生活・後見支援員研修会」および「平成25年度福祉後見入門講座修了生フォローアップ研修会」(主催 八幡浜市社会福祉協議会)を開催し、14名の方が出席されました。

講師に地域活動支援センターくじら施設長(臨床心理士)幸田裕司氏をお招きし、コミュニケーションの機能・役割、ロールプレイをまじえて円滑な

コミュニケーションを図る技術を学びました。

私たちはふだん会話でのコミュニケーションが中心です。幸田さんは非言語コミュニケーションの重要性について、ロールプレイの中で気づきを与えてくれました。相手に合わせたコミュニケーションを工夫していくこと、自己決定を支援することなど、大切なことを学びました。



言葉を使わず、好きな食べ物を伝えています

平成24年度 権利擁護フォーラムを開催しました

「成年後見制度は、今後、八幡浜市に必要なになってくる」

平成25年3月2日(土) 13時～16時、JAにしろわ会館5階スターホールにて、「平成24年度 権利擁護フォーラム」(主催 八幡浜市社会福祉協議会)を開催しました。見守り推進員、民生児童委員、社会福祉士、学生、福祉事業所、地区社協、司法書士会・リーガルサポートセンター、地域包括支援センター、行政機関等約170名の方に出席して頂きました。

成年後見制度は、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が低下した人の財産管理(預貯金や不動産管理)や身上監護(福祉サービスや医療の契約)を支援する制度です。愛媛県内においても、年々、利用者は増加しています。弁護士や司法書士、社会福祉士、社会福祉協議会等様々な第三者・専門職後見人が活躍しています。八幡浜市においては高齢化率が高くなっています。高齢者の10人に1人が認知症になる可能性があるといわれ、成年後見制度利用が進んでくると考えられます。

地域住民や民生児童委員、福祉事業所においても、制度を正しく理解したうえで、利用者支援および成年後見人等との連携を図ることが求められています。成年後見制度のしくみや対象者、専門職・専門機関による成年後見制度の取組への理解を深めることを目的として、フォーラムを開催しました。



多くの人と機関に出席して頂きました

市町村長の申立て件数の増加

2011年	全国	3690件
	愛媛	60件

第三者後見人が就任するケース

- 1 子どもや兄弟姉妹など身寄りがない
- 2 親族が関わりを拒否する
- 3 親族がいても近くにはいない
- 4 親族間で葛藤・争いがある
- 5 親族による横領が問題になった

親族以外の第三者後見人の増加（資料：宮崎教授）

「具体的な事例もありました。さまざまな事情により親族以外の第三者・専門職後見人が増加しており、その確保の必要性が高まっています。社会福祉協議会やNPO法人による法人後見の取組や市民後見人養成の取組が愛媛県でも活発になってきていることや市民後見人が活躍できる仕組みについて、ヒントを頂きました。」

「続けてのトークセッションでは、社会福祉士村口毅氏、NPO法人市民後見サポートセンターえひめ理事長野垣康之氏、八幡浜市社協田中奈美氏より、成年後見制度への取組について報告して頂きました。その後、宮崎教授にコーディネーターを務めて頂き、「権利擁護の輪を広げていくために」「市民が成年後見制度を担うために」をテーマに、報告者とお話を深めて頂きました。今後、成年後見制度をはじめとする権利擁護活動は「連携」と「しくみづくり」が大切になってくることを確認できました。出席者にアンケートをとりました。9割以上の方が、「今後、八幡浜市において成年後見制度の必要性が高まってくる」と答えています。」



愛媛大学 宮崎教授

講演では、愛媛大学法文学部総合政策学科 教授 宮崎幹朗氏をお招きし、「地域を基盤とした成年後見制度へのとりくみ」についてお話しして頂きました。成年後見制度が取り入れられた社会的な背景、高齢者・障がい者が抱える問題、成年後見制度の申立件数と申立ての動機、成年後見人等の種類等について報告して頂きました。消費被害など

「今後も、成年後見制度に関する様々な研修会等を企画していきます。成年後見制度についてのお問い合わせは、八幡浜市社会福祉協議会総務福祉課（23-2940）まで。」



写真左より、報告者の村口氏、野垣氏、田中氏

一緒に住んでいる社会、 一緒につくって行く社会 しあわせを目指した社会へ (精神保健福祉を通じて)

平成25年2月5日(火)13時30分～15時10分、江戸岡地区福祉座談会(主催 江戸岡地区社会福祉協議会)が開催されました。江戸岡地区社協役員30名を対象に、精神保健福祉に関する学習会(ふくし出前講座)として、双岩病院精神保健福祉士 島内美月氏から「地域で暮らす―精神障がい者への支援―」について、お話して頂きました。

島内氏からは、人が暮らすということ、精神障がい者がおかれている状況、精神障がい者の抱えてきたもの、「疾病」と「障害」との闘い等を伝えて頂きました。自分の暮らしているまち、安心のまち、しあわせのまちの実現のために私たちができることは、生きづらさを抱える人を「知らない人」から「知ってもらっている人」になることが大切であることを話されました。人は「知らないこと」「わからないこと」に弱いものです。弱いから、恐怖や拒否が起こります。そしていつのまにか、そのことから遠ざかり、「関係ない」



優しく語りかける島内氏(写真 右奥)

になります。「関係ない」が住みにくい社会をつくっていませんかと提言を頂きました。出席者からは、「精神保健福祉について身近に感じている反面初めて話を伺った」、「今後も勉強していきたい」という声がありました。

平成25年度 ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動保険は、日本国内におけるボランティア活動中におこる様々な事故に対する備えとして、無償で活動するボランティアの方々を補償とする保険です。保険料は社協にて負担します。ボランティアをしたい個人・団体の方は八幡浜市社会福祉協議会まで、お申込をお願いします。

加入できる方

ボランティア個人またはボランティアグループ

補償内容

- ・ボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任
- ・活動場所と自宅との往復途上の事故
- ・ボランティア自身の食中毒や特定感染症
- ・台風など風水害によるケガ

補償期間

平成25年4月1日から平成26年3月31日
途中加入の場合は、加入した日から3月31日までとなります。

対象となるボランティア

日本国内における、自発的な意思に基づき他人や社会に貢献する無償のボランティア

お問い合わせ・お申込み

社会福祉法人
八幡浜市社会福祉協議会
総務福祉課
TEL 23-2940

